


地域の盆踊り 小中学生に指導 福山市

地域 広島 備後

2024/7/30 (最終更新: 2024/7/30) 



地域の盆踊りや行事に愛着を持ってもらおうと、地元住民による小中学生への踊りの指導が、広島県福山市箕島町と草戸町であった。

箕島交流館（箕島町）では箕島小の5、6年約40人が、8月3日の夏祭りで踊る「箕島ふるさと音頭」などを練習。地元の日本舞踊家常盤初裕さん（45）の指導で、海沿いの風景や盛んな野菜の栽培を題材にした歌詞に合わせて踊った。5年眞木原詩栞（しおり）さん（10）は「難しかった。でもみんなで踊ると楽しい」と笑顔を見せた。



拡大する

うちわを手に箕島ふるさと音頭を練習する児童たち



ジンギスカンの盆踊りに挑戦する鷹取中の生徒と地域住民

草戸町の鷹取中では全校生徒約240人が、地域の盆踊り大会で定番の「炭坑節」と、「ジンギスカン」の盆踊りバージョンに挑戦。講師の吉津賢三さん（78）＝南蔵王町＝のかけ声でテンポ良く舞った。生徒会長の3年北村七香さん（15）は「盆踊り大会で踊るのは初めて。地域の人と関わる機会を増やしたい」と話していた。（原末緒）



中国新聞 デジタル 